

(2025年) 令和7年1月14日

## 2025年版高等学校男子適用規則(案)

全国高等学校体育連盟体操部  
日本体操協会審判委員会体操競技男子審判本部

次に示すもの以外は、2025年版採点規則(日本体操協会発行)を適用する。

### 1. 技の認定と難度の設定について

(1) ゆかにおいて、2回宙返り技を演技内に実施しなければならない。

⇒実施しない(認定されない)場合はND 0.3

(2) 難度の設定

つり輪・屈腕ほん転逆上がり倒立(屈腕後方車輪倒立)(2秒):C難度(グループI)

・屈腕後ろ振り上がり倒立(屈腕前方車輪倒立)(2秒):C難度(グループI)

※伸腕で実施する技と同一枠となる。

※肘をまげたことによる減点およびその他の減点は規則通り行う。

つり輪, 平行棒, 鉄棒・前方または後方かかえ込み宙返り下り:A難度(グループIV)

### 2. つり輪における加点について

グループIIおよびIIIのE難度以上の技に対して、1技につき0.1の加点をDスコアに行う。

※ただし、不認定となった技は加点の対象としない。

### 3. 各種目の競技前ワンタッチアップについて

(1) 30秒アップ ⇒ ゆか, あん馬, つり輪, 鉄棒

(2) 50秒アップ ⇒ 平行棒

(3) 2本アップ ⇒ 跳馬

### 4. 禁止技について

なし(難度表に記されているジュニアルールにおける禁止技を示す●印は適用しない。)

### 5. 補助者について

つり輪、鉄棒に加え、跳馬、平行棒においても1名の補助者をつけることができる。

～ 2025年2月の全国高体連体操専門部委員総会にて決定いたします ～

以上